

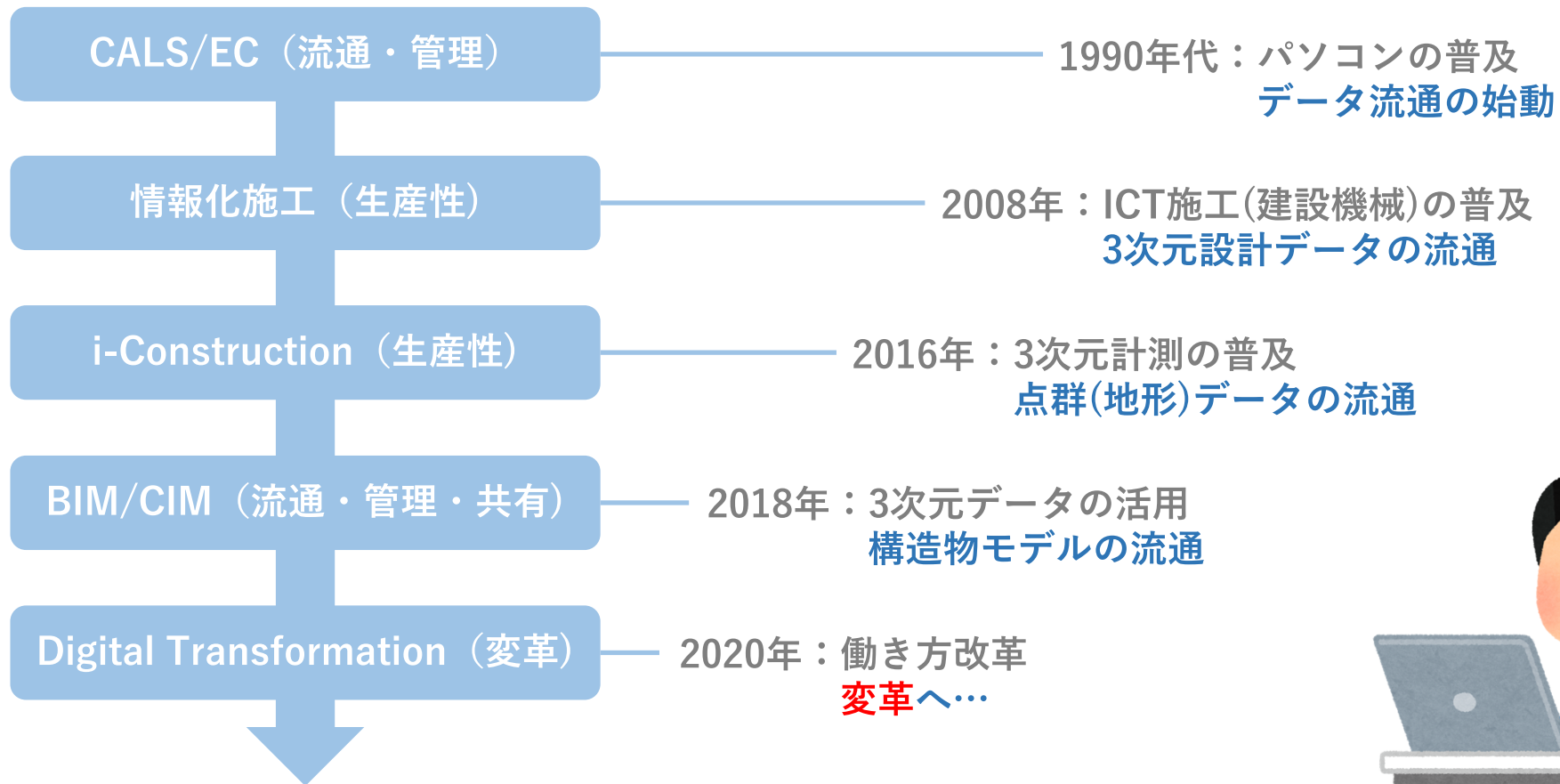
令和3年度
i-Construction講習会

2021年10月14日

福井コンピュータ株式会社

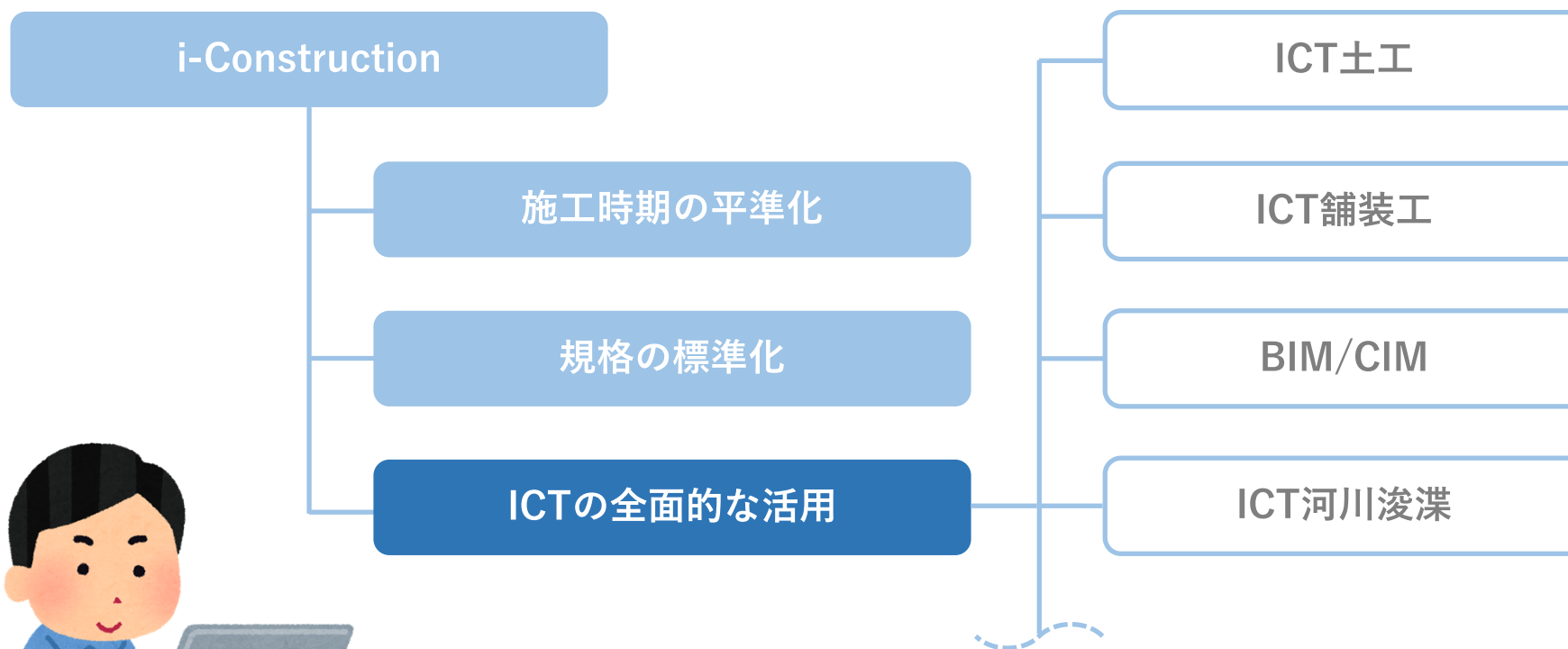
1. デジタル化施策の歩み

▶ デジタル化施策と目的



2. i-Constructionとは

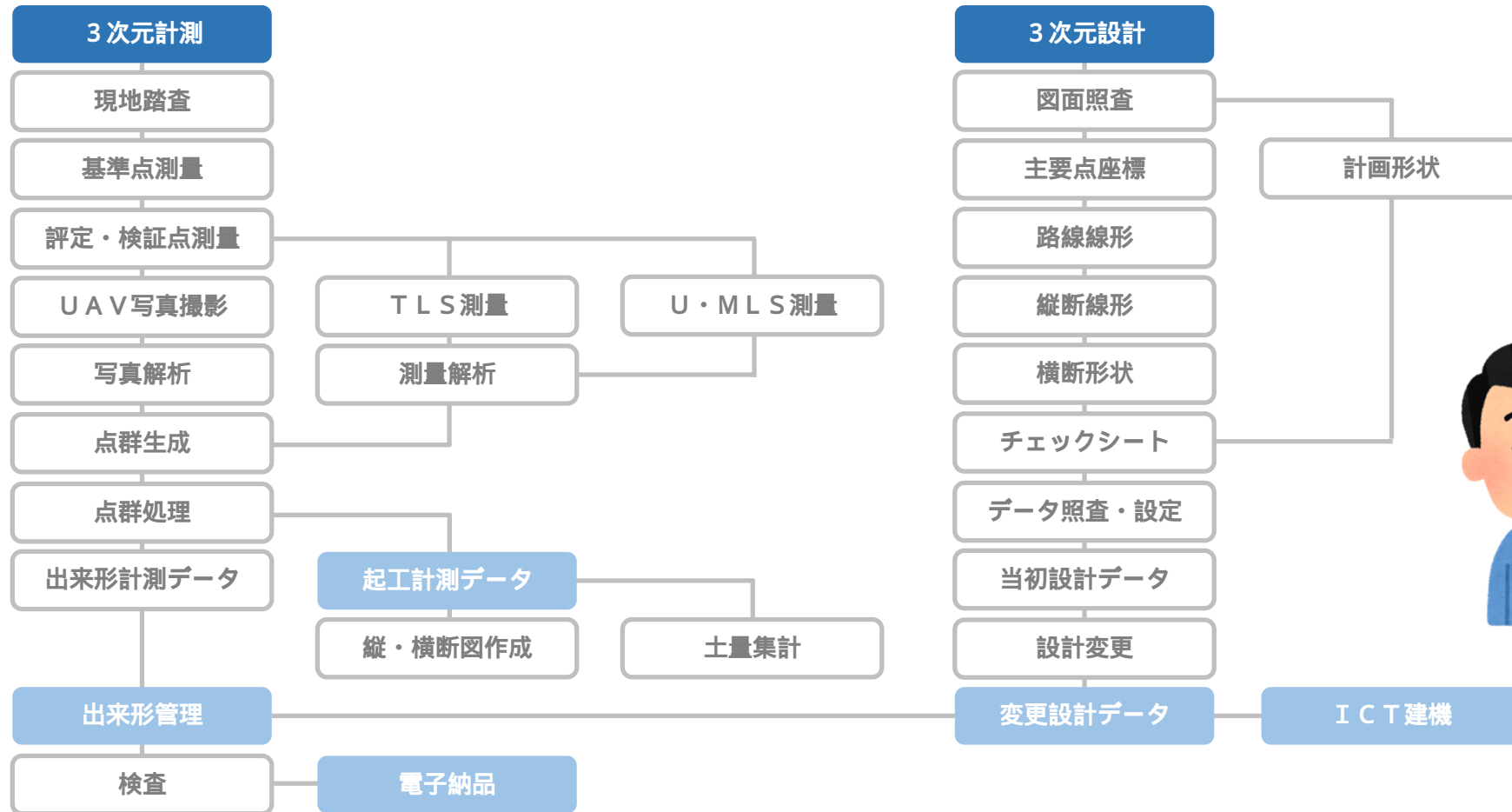
▶ i-ConstructionとICT施工



適用年度における『**ICTの全面的な活用の推進に関する実施方針**』を確認してみましょう！

3. ICT施工とは

▶ ICT施工の業務フロー



4. LandXMLとは

▶ LandXML

『LandXML』データとは、世界規模で流通・活用されている道路、河川事業を対象としたTIN（線形）モデルである。

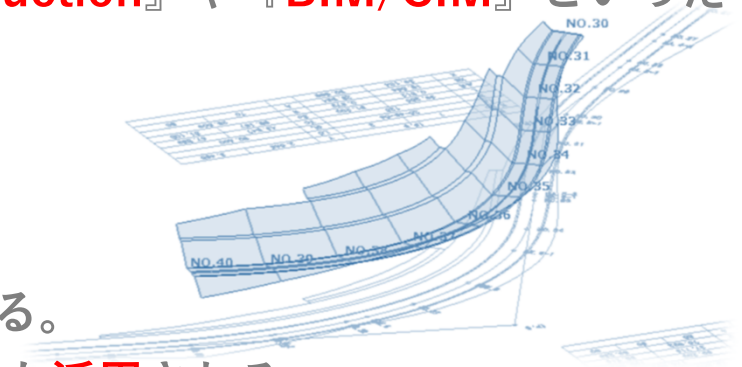
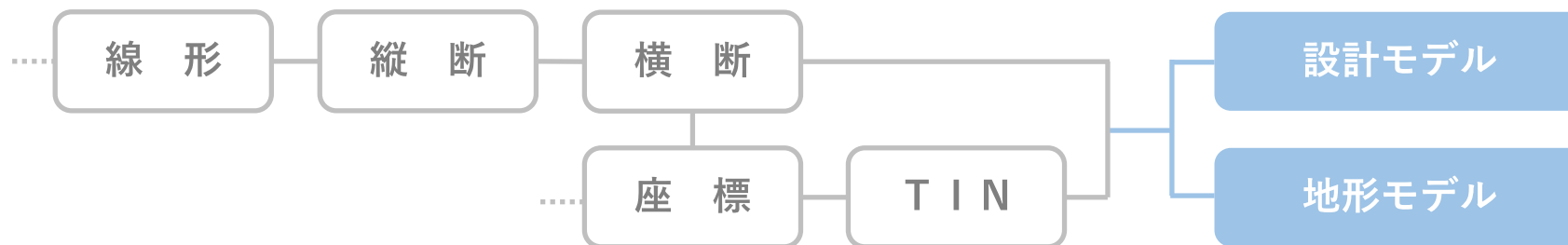
日本国内においても、国土交通省で推奨する『i-Construction』や『BIM/CIM』といった各種3次元活用の交換標準フォーマットである。

▶ データ構造

『LandXML』データの構造は、

大きく『座標』『線形』『TIN（三角網）』に分類される。

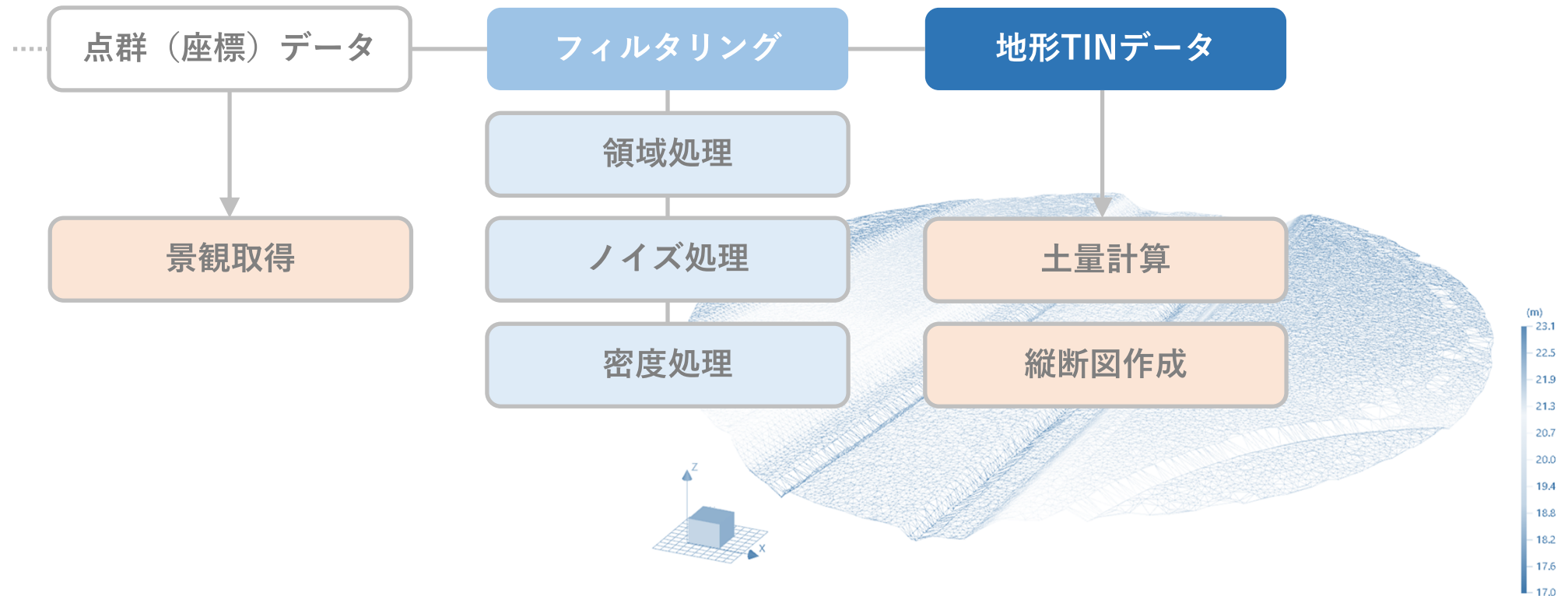
用途に応じて、**設計モデル**としても、**地形モデル**としても活用される。



4. 3次元起工測量

▶ 点群処理とは

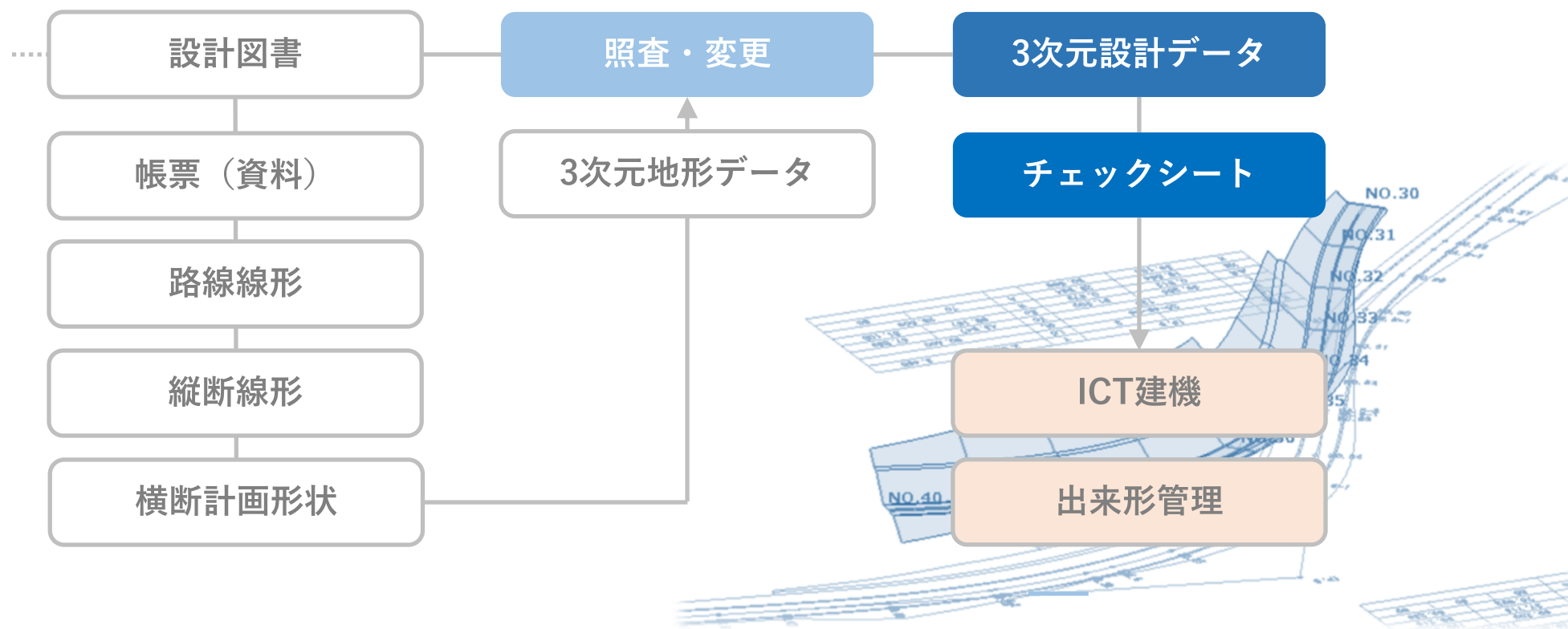
『点群処理』とは、取得、並びに生成した点群データに対してフィルタリング処理を行い地形TIN（グラウンド）データを作成することである。



5. 3次元設計

▶ 3次元設計データとは

『3次元設計』データとは、ICT建機の運用や出来形管理などに用いる設計モデルである。データの作成には、3次元地形データと設計図書（帳票・図面）が必要である。



6. 3次元出来形管理

▶ 3次元出来形管理とは

『3次元出来形管理』とは、設計変更等に対応した最終の3次元設計データと対象工種施工後の地形データを、面的に比較することによって得る評価手法である。

